

## 慢性C型肝炎

慢性肝炎の原因の7割がC型肝炎で、2割がB型肝炎です。慢性C型肝炎はC型肝炎ウイルスの感染による疾患であり、日本における患者数は150万人とされています。C型肝炎ウイルスの重要な点としては、慢性肝炎、肝硬変、肝癌の患者の7から8割がC型肝炎ウイルスを持っていることです。感染経路については、血液を介して感染することが知られています。C型肝炎ウイルスの感染は輸血（30%）、入れ墨や覚醒剤注射（5～15%）、50%は原因不明です。C型肝炎ウイルスの肝臓以外の病変について、腎炎、肥大型心筋症、皮膚疾患などがある。

### 1)西洋医学的治療

#### 1.インターフェロン

インターフェロンは抗ウイルス活性を有するポリペプチドであり、白血球などで作られます。インターフェロンを作る細胞の違いによって、 $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\gamma$ の3種類があります。インターフェロンの慢性C型肝炎に対する効果は30%に有効とされています。慢性C型肝炎と診断された患者さんは、インターフェロンの適応があれば、まずインターフェロン治療を受けるのが良いと思います。インターフェロンの副作用としては、発熱、全身倦怠感、うつ病、けいれん、知覚障害などがあります。

C型肝炎ウイルスのタイプについて（遺伝子型）、1 a、1 b、2 a、2 b型に分類される。インターフェロンの有効率は、1 b型で低く、2 a型で高い。

## 2、インターフェロンとリバビリン（抗ウイルス薬）併用療法

1型でウイルスの多いタイプは従来のインターフェロン療法では効果がよくなかったが、インターフェロンとリバビリン併用療法では、20%でウイルスが消失。従来のインターフェロン療法に比べて約3倍の効果がある。

リバビリンの副作用：貧血、胎児や精子に影響を与える。リバビリン服用中は妊娠は避ける。

## 3、コンセンサスインターフェロン療法

ヒトの体内で作られる10数種類のインターフェロンの共通部分をもつように設計されて、人工的に作製されたインターフェロンである。従来のインターフェロンよりもより高い治療効果がある。

副作用：従来のインターフェロンと同じである。発熱、筋肉痛、関節痛などがある。

## 4、強力ミノファージェンC

強力ミノファージェンCはグリチルリチンが配合された注射製剤で、肝ひ護作用を有している。GOT、GPTなどを改善する効果があります。

## 5、ウルソ（ウルソサン）

ウルソは肝臓からの胆汁分泌を促進する薬剤ですが、慢性肝炎に有効であることが知られています。GOT、GPTなどを改善する効果があります。

### 2)漢方薬

慢性C型肝炎によく使用されるものとして、人参養栄湯、十全大補湯、小柴胡湯、補中益気湯、四逆散などがありますが、人参養栄湯がもっとも多く用いられていて、また効果の点で優れています。